



新屋島水族館アメリカマナティ



北れいからのながめ



屋島寺「雪の庭」

「屋島」ってどんなところ？

屋島は、むかし島でしたが、今は川をはさんで陸つづきになりました。メサとよばれるテーブルのように上が平たくなったようが台地で、大きな屋根のように見えるので「屋島」とよばれています。一番高いところはおよそ300メートル、南北におよそ5キロ、東西におよそ2キロあり、山登りやハイキング、野鳥や植物などの観察ができます。古いお城のあとや屋島寺、展望台や水族館もあり、いろいろなことを学ぶことができます。屋島は「瀬戸内海国立公園」・「史跡天然記念物」といって、国がえらんだすばらしい公園であり、歴史上だいじな場所、めずらしい自然も残っています。



なでしこの花



屋島のさくら



屋島から見た夕日

【屋島たんけん隊のちかい】

- 学校の先生やお家の人といっしょに探検しましょう。
- 山を歩くのにふさわしい服装やくつにしましょう。
- しっかり計画を立て、歩く前には準備運動をしましょう。
- 花や木をつんだり切ったり、いためてはいけません。
- ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- 道でないところやよその庭には入らないようにしましょう。
- 交通ルールを守りましょう。
- ちかいを守ってなかよく歩きましょう。

【保護者の方へ】

- 屋島には危険な山道もあります。保護者の指導、同伴をお願いいたします。
- 山道を歩く際には、専門家の指導、また登山に適した服装・装備が必要です。
- マムシやイノシシなども出ることがあるので注意が必要です。
- 道を外れたり、草花を取ったりすることはしないようお願いいたします。
- 美しい自然を守るためにゴミなどは必ず持ち帰るようお願いいたします。
- 路上駐車はしないようお願いいたします。

たかまつしかんこうこうりゅうか

高松市観光交流課 電話 087-839-2416



屋島ナビ



屋島ナビフェイスブック



すてき屋根! 屋島!



まなぶくん



このパンフレットを使って
屋島を探検してみよう!
自然や歴史を勉強してみよう!



あそぶちゃん

屋島たんけん絵図

屋島で遊ぼう屋島を学ぼう！！

Q. 屋島寺はいつできたのですか？

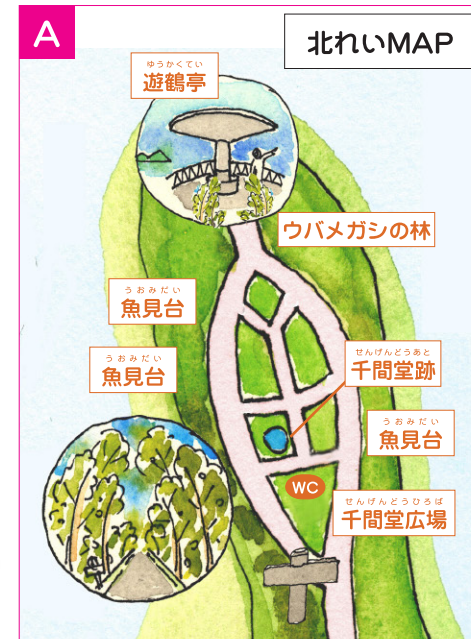
A. 753年に中国から日本にやってきた“がんじん(鑑真)”というおぼうさんが、屋島の“ほくれい(北嶺)”にたてたのが始まりといわれています。そのあとが、今も“せんげんどう(千間堂)”とよばれています。その後“こうぼうだいし(弘法大師)”が、今の場所にうつしました。屋島寺には“じゅうようぶんかざい(重要文化財)”というたから物があります。
屋島寺 電話 087-841-9418
ほうもつかん 9時～17時(有りよう)

Q. かわらけ投げってなんですか？

A. “げんべいやしまかつせん(源平屋島合戦)”という昔のいくさで勝った人たちが、頭にかぶっていたかさを投げておいわいたそうです。そこで、いろいろおねがいごとがかなうようにと、かさを形をした小さなすやきのどき(土器)をてんぼう台から投げるようになりました。屋島山上のおみやげ屋さんで売っています(8まい200円)。

Q. 屋島にしろ(城)があったのですか？

A. 屋島にしろ(城)をきざいたと古い本に書かれていました。門のあとが見つかり、かべの一部分を昔のように作ってみました。このしろ(城)は“やしまのき(屋嶋城)”とよばれています。
高松市埋蔵文化財センター
電話 087-823-2714
(受つけ:月～金曜日の8時30分～17時15分)



●新屋島水族館
めずらしいアメリカナティやゼニガタアザラシ、ペンギンなどがいます。タッチプールでは、いその生き物にさわることができます。とう明ボートでイルカのかんさつもできます。
電話 087-841-2678
9時～17時(年中無休・有りよう)



●昔話の舞台をたずねてみよう
屋島には、日本のタヌキのたいしょうともいわれる「たさぶろうだぬき」のお話や「くわすのなし」などのお話がつたえられています。



●味わってみよう
屋島名物「いいだこおでん」や、山の上でもさぬきうどんを食べることができます。

●ボランティアガイド
屋島のれきしなどをお話してくれるボランティアガイドさんは、土曜と日曜の10時～15時まで(冬と夏に休みがあります)屋島寺の東で待っています。

問合せ 高松市観光交流課
電話 087-839-2416
(受つけ:月～金曜日の8時30分～17時15分)

屋島寺には、
どんなたから(宝)があるのか
調べてみよう。

どこまで
とぶのか、
チャレンジ
しよう。

どうして
“やしまのき”が、
作られたん
だろう？

ミサゴに
ずっと住んで
もらえるように、
みんなで
見守ろうね。

てんぼう台から
なにが見えるか、
絵に書いてみてね。

図かんなどを
持って、
歩きながら屋島を
調べてみよう。

Q. 屋島にはどんな
鳥がいますか？

A. ぜつめつが心配されているミサゴのほか、ハヤブサやウグイス、夏はホトトギス、冬はジョウビタキなどたくさんの鳥やこん虫、動物もいます。また、花や木も多いので、しっかりかんさつしましょう。

Q. 屋島の展望台からは
なにが見えますか？

A. 3つのてんぼう台があり、“だんこれい(談古嶺)”からは、「げんべいやしまかつせん(源平屋島合戦)」のいくさがおこなわれた場所を見ることができます。“ししのれいがん(獅子の霊巖)”からは、高松港を見ることができます。“ゆうかくてい(遊鶴亭)”からは、美しい海と島々を見ることができます。ほかにもまちがよく見える“かんむりがだけ(冠ヶ嶽)”などがあります。

Q. 源平屋島合戦って
どんないくさですか？

A. 都から追われて屋島のふもとにいた“へいし(平氏)”と追いかけてきた“げんじ(源氏)”が屋島の「だんのうら(檀ノ浦)」でたたかいました。この戦いを「げんべいやしまかつせん(源平屋島合戦)」といいます。そして、ここからにげた平氏は、山口県にある「だんのうら(檀ノ浦)」で負けてしまいます。